

# みんなで決めよう！上関・伊方原発 YES / NO ～ 「環瀬戸内」 原発住民投票に向けて～

311福島原発事故以降、未だに原発事故収束の見通しも立たず、16万人もの避難者の帰還のメドもつかないなか、国民の大多数は脱原発を望んでいます。その声は、収拾のつかない汚染水問題や小泉前首相からの問題提起などでますます大きくなってきています。

他方、昨年12月の政権交代後、政治は原発推進へと脱原発政策を反転させようとしており、脱原発を望む民意と政治とのズレがますます大きくなろうとしています。

そうした中、国のエネルギー基本計画の検討が進み、最初の再稼動が心配される伊方原発と、国の新增設方針の焦点となる上関原発は、いずれも閉鎖海域でありながら自然豊かな瀬戸内海に立地する原発であり、上関は安倍首相のお膝元でもあることから、今、焦点が当たりつつあります。

これら2つの「環瀬戸内」原発に焦点を当てて、脱原発・エネルギー政策など国策の行方や再稼動・新增設の是非を住民が自ら決める「県民投票」の可能性を含めて、これからの地方自治や民主主義のあり方を議論いたします。



## ■開催概要

日時：2013年11月8日(金)13時半開場 14時～17時

場所：周南市民館 小ホール

(周南市岐山通り1-4 電話0834-22-8650)

主催：「環瀬戸内」原発住民投票準備会(仮称)

入場料：500円

賛同：みんなで決めよう「原発」国民投票、

連絡先：安藤公門（「環瀬戸内」原発住民投票準備会(仮称)）

080-6331-0960 [ando-maipenrai@nifty.com](mailto:ando-maipenrai@nifty.com)

## ■登壇者（敬称略）

宮台真司

今井 一

田中 優

小出裕章

(メッセージ参加)



安藤公門・飯田哲也 「環瀬戸内」原発住民投票準備会(仮称)

上園昌武（島根大学教授、島根県民投票運動を代表して）

衣山弘人（広島・南相馬からの避難者）・吉田益子（徳島・吉野川可動堰運動）

草地大作（上関原発を建てさせない山口県民大集会実行委員会事務局長）

小松正幸・有友正本（「環瀬戸内」原発住民投票準備会(仮称) 愛媛側代表）

大分県（未定）、香川県（未定）、兵庫県（未定）

## プログラム（敬称略）

- 主催者挨拶：
  - ・小松正幸（「環瀬戸内」原発住民投票準備会(仮称) 愛媛側代表）
- ミニ講演：（各15分）
  - ・宮台真司「いまなぜ瀬戸内原発住民投票か？」(仮題)
  - ・今井一「市民の良識が示される国内外の国民投票・住民投票」(仮題)
  - ・田中優「市民が選ぶ未来のエネルギー」(仮題)
- 「環瀬戸内」原発住民投票 応援パネル討論
  - ・有友正本（「環瀬戸内」原発住民投票準備会(仮称) 愛媛）
  - ・今井一（[国民投票/住民投票] 情報室 事務局長）
  - ・上園昌武（島根大学教授、島根県民投票運動を代表して）
  - ・衣山弘人（広島・南相馬からの避難者）
  - ・草地大作（上関原発を建てさせない山口県民大集会実行委員会事務局長）
  - ・田中優(岡山から。未来バンク事業組合理事長)
  - ・宮台真司(首都大学東京教授、みんなで決めよう「原発」国民投票代表)
  - ・吉田益子（徳島・吉野川可動堰運動）

コーディネータ：飯田哲也（「環瀬戸内」原発住民投票準備会(仮称)）

- 小出裕章さん応援メッセージの紹介

- 主催者挨拶：安藤公門 「環瀬戸内」原発住民投票準備会(仮称) 山口側代表

※終了後、パネリスト全員で記者会見を予定しております。

瀬戸内海でわずか40kmで向き合う伊方原発と上関原発予定地

（出典：『瀬戸内海は今』（環瀬戸内海会議13年刊）より）

